

2025年3月28日

～神奈川中央交通グループの脱炭素に向けた取り組みが加速～

大型EV路線バスを5両導入するとともに 当社グループの「環境保全ロゴ」を策定しました

神奈川中央交通株式会社（本社：神奈川県平塚市、社長：今井 雅之）では、2025年3月より平塚営業所に5両の大型EV路線バスを導入しました。あわせて、当社グループが環境保全に向けた取り組みを推進していくにあたり、「環境保全推進ロゴ」を策定し、今回導入するEV路線バスより車体に掲出します。今後、同ロゴを活用することにより当社グループの環境への取り組みに対する理解を深めていただくとともに、引き続き、環境保全に向けた具体的な施策を着実に進めて参ります。

1. 大型EV路線バスの導入と背景

当社では2023年4月に当社グループのカーボンニュートラル達成に向けたロードマップを策定し、CO2排出量を2050年度に実質ゼロ、中間目標として2030年度に2013年度比35%削減の数値目標を設定しました。その具体的な削減策の一つとしてEVバスの導入を掲げており、2030年度までに保有台数のうち15%以上のEV化をKPIとして定めています。2023年3月より導入を開始して以来、現在までに、大型バス2両、小型バス1両のEV路線バスを導入しており、今般、更なる脱炭素の実現に向けて、新たに5両の大型EV路線バスを導入しました。

【今回導入する大型EV路線バス】

①いすゞエルガEV

②BYD K8 (2.0)



2. 神奈中グループ環境保全推進ロゴの策定

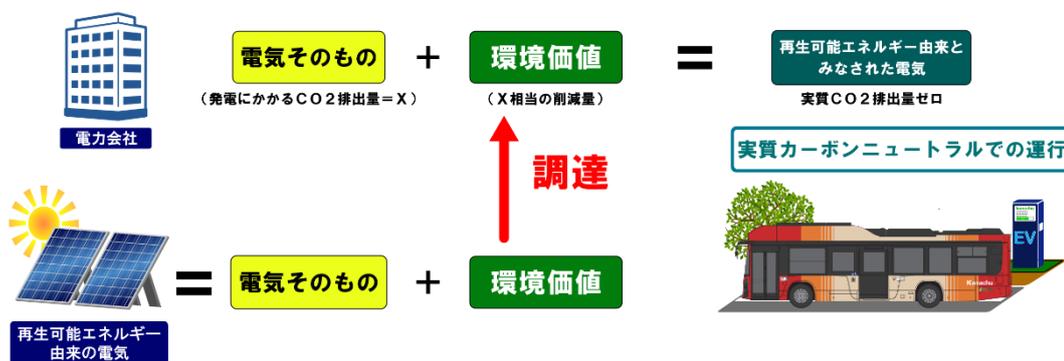
今回のEV路線バスの導入に併せて、新たに当社グループの環境保全への取り組みを象徴するロゴマークを策定しました。このロゴは、EV路線バスの車体掲出をはじめ、環境に配慮した当社グループのサービスや商品の認知度向上に活用して参ります。環境に配慮した当社グループのサービスや商品を認知していただくことで、地域の方々にエシカル消費（人・社会・地域・環境に配慮した消費行動）を意識していただくとともに、これからも環境保全に向け貢献して参ります。



【神奈中グループ環境保全推進ロゴ】

3. カーボンニュートラルによる運行

現在、EV路線バスで使用する電力に関しては環境価値を調達することにより実質カーボンニュートラルでの運行を実現しております。今般導入するEV路線バス5両に関しても引き続き同様のスキームにより、カーボンニュートラルでの運行を継続して参ります。



以上

参考情報

1. 大型EV路線バスについて

(1) 運行開始日

2025年3月下旬より順次開始

(2) 導入車両概要

車種	BYD製「K8 (2.0)」 ノンステップバス	いすゞ自動車製「エルガEV」 ノンステップバス
車長/車幅	10.5m/2.49m	10.5m/2.49m
定員	80名(座席22+跳上席4+立席53+ 運転席1)都市型仕様	68名(座席15+跳上席4+立席48+運転 席1)都市型仕様
バッテリー容量	314kWh	242kWh

(3) 導入営業所、台数

- 平塚営業所、5両 (BYD製「K8 (2.0)」4両、いすゞ自動車製「エルガEV」1両)

(4) 運行エリア

平塚市、茅ヶ崎市、伊勢原市、厚木市、大磯町、二宮町、寒川町

2. その他神奈中グループの環境保全への取り組み

<https://www.kanachu-ir.jp/csr/environment/conservation.html>